

のり海況速報 第1報 (29-1)

平成29年10月6日発行
 千葉県水産総合研究センター
 東京湾漁業研究所
 千葉県農林水産技術会議

資料 のり海況調査 9/25：内湾(ふさなみ)、9/26：内房北部(ふさなみ)
 関東・東海海況速報(9/26)、東京湾口海況図(9/26)
 自動観測ブイデータ(9/25)
 モニタリングポスト(9/25：国交省関東地方整備局)

【水温・塩分の状況】

- ・内湾の表層水温は22.7～24.6℃で、前年同期(9/26, 27)より1℃ほど低めでした(図1)。塩分は23.1～31.4で、特に羽田沖で低い状態でした。
- ・内房北部の表層水温は22.8～24.5℃、塩分は31.1～31.9でした。
- ・富津地区のり漁場への、沖合水の強い波及はみられませんでした(図1, 2)。

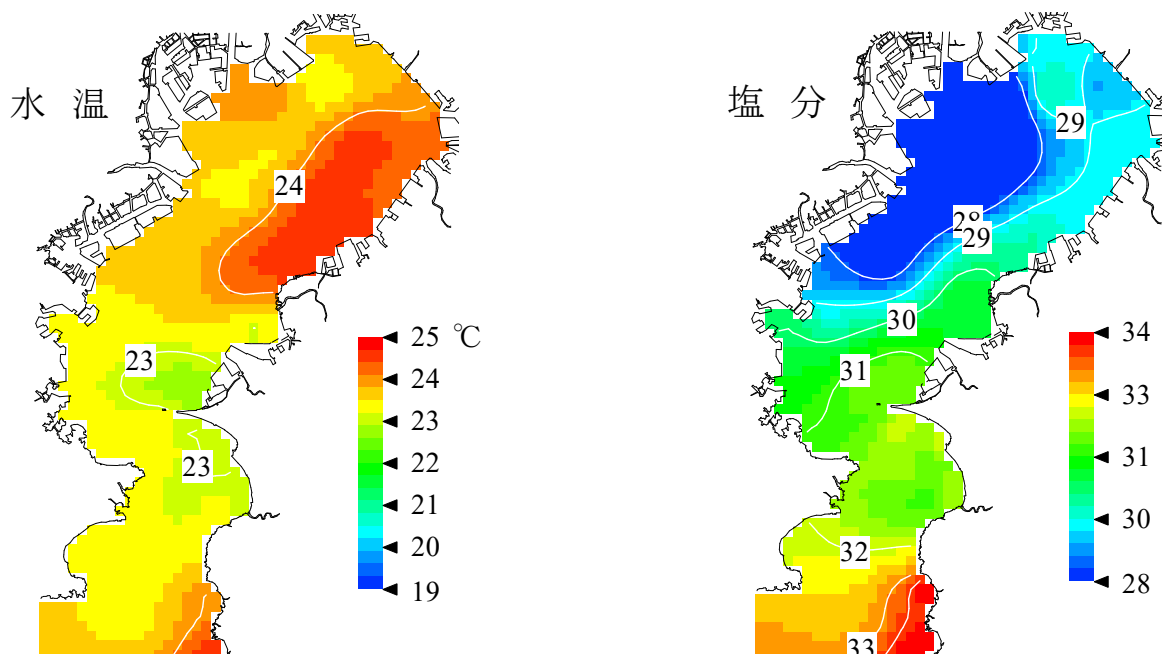


図1 表層の水温・塩分の分布(平成29年9月25, 26日)

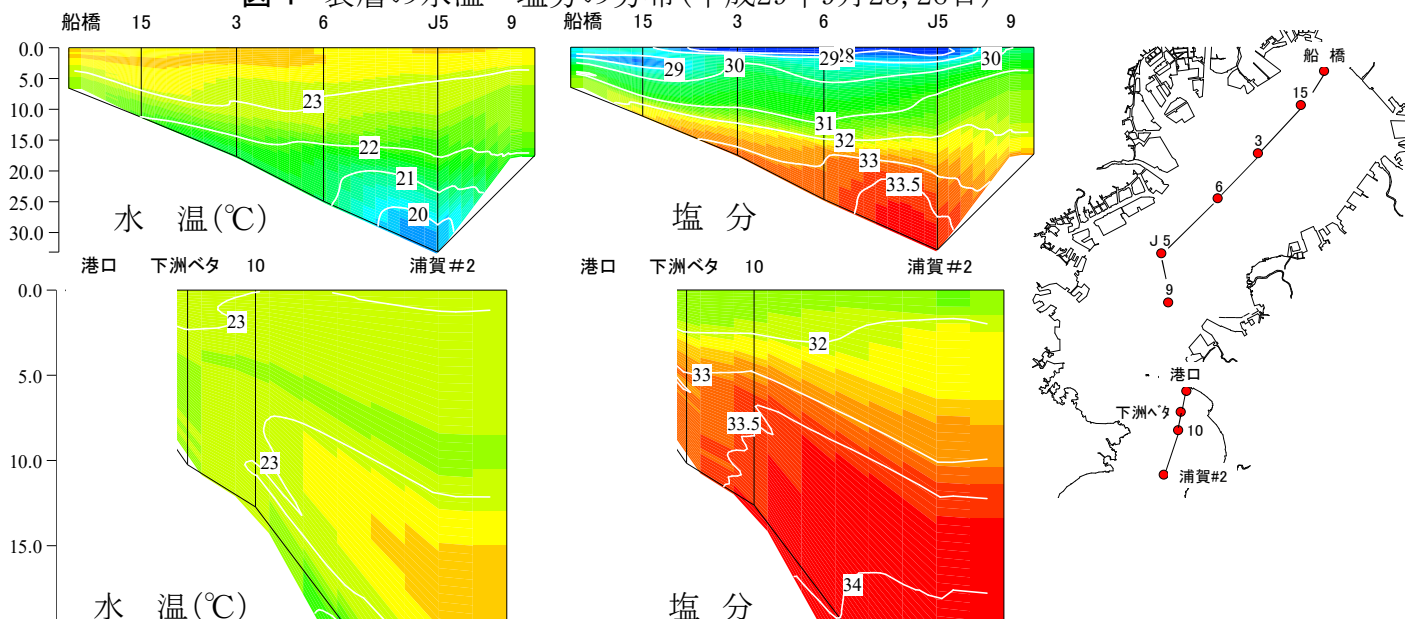


図2 調査ラインの水温・塩分の鉛直分布(平成29年9月25, 26日)
 (上：内湾、下：内房北部、右：調査ライン)

【赤潮・栄養塩の状況】

- ・赤潮（酸素飽和度150 %以上、透明度1.5 m以下、pH8.5以上）は見られませんでした。
- ・プランクトン優占種は珪藻キートセロス及びスケルトネマ、透明度は1.8～12 mでした。
- ・のり漁場表層の栄養塩を見ると、窒素(DIN)は千葉北部地区でノリの色調の保持や健全な生育に必要なレベル(90 $\mu\text{g/L}$)を上回りましたが、他の地区では下回りました。(図3)。リン(DIP)は大貫沖でノリの色調の保持や健全な生育に必要なレベル(5 $\mu\text{g/L}$)を下回りました。

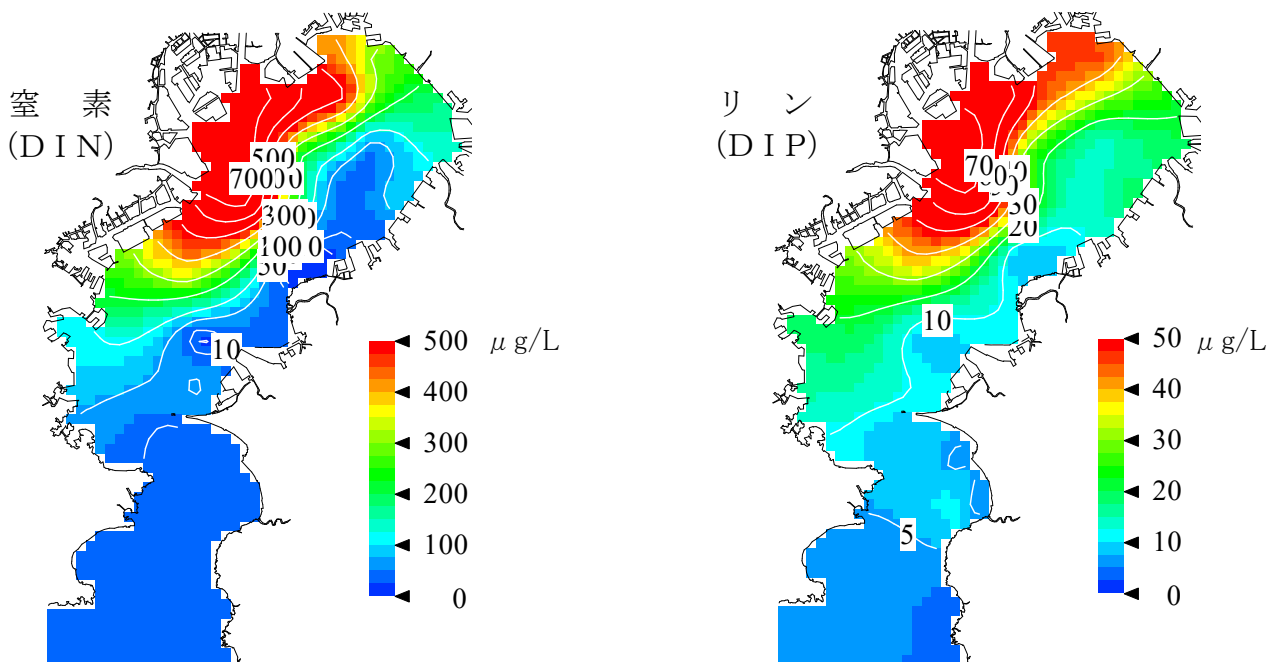


図3 表層の栄養塩濃度の分布(平成29年9月25, 26日)

(参考)

高色調のノリの生産に必要なレベル	窒素110 $\mu\text{g/L}$	リン8 $\mu\text{g/L}$
ノリの色調の保持や健全な生育に必要なレベル	窒素 90 $\mu\text{g/L}$	リン5 $\mu\text{g/L}$

川養殖場水温予報のお知らせ

今年も、各川養殖場(三番瀬, 盤洲北部, 盤洲南部, 富津岬北, 富津岬南)について、5日先まで表層水温を予報します。パソコンまたは携帯の検索サイトで”川養殖場水温予報”で検索するか、下記アドレスを直接入力してご覧ください。

パソコン: http://www.pref.chiba.lg.jp/pbcbisuishi/cbtk/04tk-yohou/main_frame.html

携帯 : http://www.pref.chiba.lg.jp/pbcbisuishi/cbtk/04tk-yohou/mobile_forecast.html